



『ほっ』 穂だより

第3号



～新施設長就任挨拶～

この度、介護老人保健施設「穂」の施設長・ケアマネとしてお世話になることになりました。吉村あや子と申します。

私は、平成5年より、七宗町社会福祉協議会に勤務し本年3月に退職するまで、地域福祉の道を歩んできました。特に介護保険事業においてお年寄りと接する時間は長く、多くのことをお年寄りから学ばせていただけてきました。

今まで関連こそあれ、こういった入所施設とは在宅生活に関わっている自分の職務とは一線を画した感がありました。しかし、まだ数日の勤務の中ですが、老人保健施設も地域に根差した在宅復帰施設であるべきという本来の役割があり、在宅と直結した包括的なケアサービス施設と位置付けて取り組んでまいりたいと考えています。

私の大切としていることは、「言葉」です。「言葉」はそのような「行動」になります。そのような「行動」は、いつか「習慣」付きます。そういった「習慣」はやがて「性格」になると思います。結果的に「言葉」はその人の「運命」になるとマザーテレサの言葉から学びました。

自分の体力・精神力・認知力を勘案しながら頑張っていきたいと思っておりますので、微力ですが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

～吉村作業療法士より～

穂で、リハビリを担当している作業療法士の吉村利枝です。美濃加茂市の山之上に住んでいます。農園はやってないのですが、周りは梨畑ばかりで少しずつ梨の種類や味に詳しくなりました。

さて、最近思うことは、いくつになっても身体機能は回復するものだと感じますが、体がいくら良くなっても心が健康でなければ、良くなった実感や生活の充実には結びつかないということです。

リハビリテーションは、単なる身体機能回復でなく「自分らしく生きること」や「人間らしく生きる権利の回復」が重要で、そのために行われる全ての活動がリハビリテーションなのです。

入所者様だけでなく、ご家族の方のお話も聞きながら、気持ちに寄り添ったりリハビリを提供していきたいと思っています。

皆様に役割や生きがい、目標ができ、笑顔の多い楽しい生活を送ってもらえることが願いです。

今回は、狙ったわけではないのですが、穂に勤務する2人の『吉村』にコメントをお願いしました。

施設長は、5月21日より着任し、ご利用者様により良い生活を送っていただく為の、ケアプランを作成するべく、日々業務にあたっています。

穂に、お越しいただいた方には、直接ご挨拶させていただいておりますが、なかなかお会いできないご家族様、地域の皆様にはこちらの広報誌にてご挨拶させていただきましたことご容赦ください。

吉村作業療法士には、また次の機会に簡単にできる体操などの紹介も計画しております。お楽しみに♪♪



人形劇「かさ地藏」を鑑賞しました。

皆さん、とても楽しそうに劇を楽しんでいらっしゃいました。

観劇の後には、歌も歌いました♪

ご利用者様は、日々自分に合った作品作りをされています。

いかがですか？この出来栄えステキでしょ ♡



近くのお寺まで、花見に行ってきました。

1日目は、晴天の暑いぐらいの日でしたが、2日目は、突然雨に降られるというハプニングもありました。

それでも、久しぶりの外出を楽しめました。

先日の母の日

ご家族からこんな素敵な花が届きました。

直接持って来られたご家族も、遠方の為やむなく郵送でお届けになられたご家族もいらっしゃいましたが、皆さん本当にうれしそうな笑顔が見られました。

お母さん、いつもありがとう

この写真の他にもたくさんのお花が穂に届きました。



他にも行われた行事の様子や出来上がった作品の紹介をホームページに掲載しています。
「老健 穂」で検索してください(´-`)v